

# オアシス新聞

第十九号  
飛んで飛んでとにかく飛ひゅいのツバメ

桜の花が咲き暖かくなつてくねと、スースーと飛び交う黒い姿が目につくようになります。一つに分かれた長い尾が特徴的なツバメです。その形は男性の礼服『燕尾服』としてもおなじみです。

大部分のツバメはフィリピンや台湾など暖かい国で冬を過ぎ、春から秋にかけて日本で繁殖をする夏鳥ですが、中にはシベリアで繁殖して冬の間は日本で過ごす『越冬ツバメ』という少數派もいます。

ツバメは民家の軒先に巣を作ることが多く、昔からツバメの巣がある家は縁起が良いなどと言われており、商売繁盛や豊作の象徴ともされてきました。ツバメはあえて人通りの多い民家の出入り口に巣を作ることにより、外敵から身を守つていると言われています。通常あまり田にあらじができない野鳥の子育てが間近で観察できる上にも、ツバメが愛着を持たれる要因のひとつなのでしょう。巣の近くを通った時、気配を察知したヒナ鳥たちが一斉にぱっと口を開くさまは、見ていてとても微笑ましいものです。巣は主に泥と枯草からできており、一度作った巣は次の年も補修しながら再び使うようです。最近は田んぼが少なくなってしまったため、ツバメも巣材を集めるのが大変なのではないでしょうか。

ところでツバメが電線にとまっている姿はよく見ても、スズメのように地面に降り立つ姿はほとんど見たことがないのではないでしょうか。ヒナにエサを与えるときでさえ、はばたきながらヒナの口にエサを押し込むとすぐに飛び立つせわしさです。実はツバメは飛翔能力がすぐれていますが、脚は短く歩行には適していません。したがってエサを捕らえるのも飛びながら空中で、水を飲むと水でえ水面レスレ飛びながら飲んでいるのです。思わず感嘆！ですよね。

ツバメのヒナは生まれた時は立派で目もありません。とにかく食べ食べと20日位で巣立ちになります。

主なエサはカ・ハエ・かハチ・トンボなど。カ(蚊)っこあなたいぱいになるのかな…?.

「ツバメが街で寝ぶと雨が降る」という言ひ伝えがありますが、低気圧が接近し湿度が高くなると湿り気で重くなった羽虫が低い所を飛ぶようになり、それらをつかまえるためにツバメも低い所にあります。みけ!!



中華料理の高級食料  
「燕の巣」は  
東南アジアに生息する  
アナツバメの巣で、  
その巣材のほとんどは  
唾液線の  
分泌物び  
つくれています。

